

## 骨位校正用アダプタ 41750

### \*\*【禁忌・禁止】

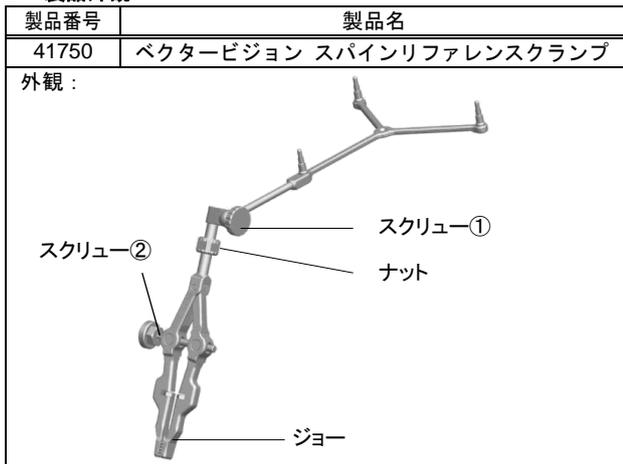
- 本品は、棘突起のみに取り付け、他の組織や神経系の部位には取り付けないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 概要

本品は患者の位置情報を検出するために、患者の脊椎骨に取り付け、ブレインラボ社製ナビゲーションユニットと併用して使用する。

#### 2. 製品外観



原材料: ステンレス鋼

#### 3. 原理

本品と併用するブレインラボ社製ナビゲーションユニットは、ブレインラボ社製赤外線反射ボールにより反射された赤外線を検知することにより、赤外線反射ボールの位置を認知する。患者の脊椎骨に、赤外線反射ボールを取り付けた本品を装着する。ナビゲーションユニットがあらかじめ、本品の形状等の情報を保有していることから、赤外線反射ボールの位置より、本品を取り付けた患部の位置情報がナビゲーションユニットのモニターに表示される。

### 【使用目的又は効果】

本品は、骨接合手術等の骨手術に用いる手動式の手術器械であり、再使用可能である。

### 【使用方法等】

#### <使用前>

本品は未滅菌のため、使用に際しては必ず洗浄・滅菌を行う。滅菌条件については「洗浄・消毒・滅菌ガイド」を参照すること。

#### <使用方法>

- 本品を患者の脊椎に取り付け、固定する。
- 調整スクリューで、アレイの角度を調整する。
- 必要に応じて、付属の専用工具を用いて、調整スクリューを固定する。

### \*\*【使用上の注意】

#### <重要な基本的注意>

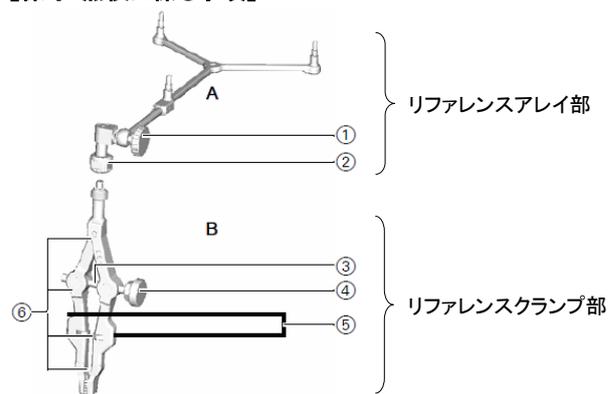
- 本品を落下させた場合、またはその他の損傷が発生した場合には、そのまま使用しないこと。
- 本品の取り付け中に、棘突起を傷ついたり、損傷したりしないように十分注意すること。
- 本品がしっかりと固定されるまで、中程度の力を加え、可能なら手でクランプを取り付けること。

- 患部の脊椎に棘突起が無い場合、本品を患部脊椎の隣の棘突起に取り付けること。この場合、ナビゲーションユニットは、隣の脊椎間の動きを補正できないため、精度確認を確実に行うこと。
- 本品が、全ての工程において、しっかりと棘突起に取り付けられていることを確認すること。[本品が移動した場合、精度の低下を引き起こす原因となり、患者の危険に繋がる可能性がある。]

### 【保管方法及び有効期間等】

常温・常圧下にて保管すること。

### \*【保守・点検に係る事項】



#### <分解の方法>

- ナット②を緩め、リファレンスアレイ部(A)をリファレンスクランプ部(B)から外す。
- リファレンスアレイ部とスクリューヘッドの間に隙間ができるように調整スクリュー①を緩める。  
注意: スクリュー①を完全に外すことはできない。外そうとすると、これを損傷、破損してしまうおそれがある。
- スクリュー④を緩めてジョー⑤を最大限開く。

#### <再処理の方法>

- 前処理を行う。ネジ山③およびジョイント⑥の隙間を徹底的に洗浄する。
- 汚れが残っていないか、特にすべてのネジ山と隙間を確認する。
- 自動洗浄と消毒を行う。
- 高圧蒸気滅菌を行う。

分解・再処理の方法については、必ず「洗浄・消毒・滅菌ガイド」を確認すること。

### \*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売業者] ブレインラボ株式会社

電話番号: 03-3769-6900

[製造業者]

ブレインラボ エージー

Brainlab AG

製造国名: ドイツ連邦共和国